

「だいたい他人の陰口、針小棒大ですね」
 「たとえば？」
 『あたし見たのよ、おとなりのご主人が若い女と一緒に。あたしのにらんだ通り、きつと奥さんに飽きがきて、若いのに乗り替えようとしてんのよ』
 『何でわかるの？』
 『奥さんと別れて若い女との新居を物色してたのよ、きつと二人で地図を見ながら。新居の下見よ。この頃どうも変だと思っていたのよ』
 『何が？』
 『あんな気がつかなかったの？』
 『何を？』
 『あのご主人、急に若返りしちゃって、ひよっとすると、あの若い女の腹の中には子どもができてるかもね』
 だつて」

先週の回答



「それが？」
 「あとでわかったんだけど、その若い女ってゆうのは、ぼくの又従姉妹(またいここ)で、ぼくんちに遊びに来たいっていうから地図をかってやったんだよ。でも、その地図がよくわからなくて、ちようど通りかかったとなりの小父さんに、ぼくんちをきいていたところだったんだつて」
 「.....」
 「それに対して、自分の言い訳、針小棒大ですね」
 「たとえば？」
 『そりゃーあたしだつて、ちよつと息抜きに小旅行ぐらいしたいじゃないの。主婦は毎日家事に追われて疲れてんだから。そんな些細なことで目くじら立て



て怒らなくてもいいでしょう。だいたいあなたは大げさなのよ、何でも。思いやりに欠けているのよ、ほんのささやかな息抜きに声を荒げて文句言うなんて』
 だつて」
 「それが？」
 「あとでわかったんだけど、その小旅行が、男と一緒に一週間ヨーロッパ旅行だったんだつて」
 「.....」
 おわかりだと思いますが、因みに、針のように小さなことを棒のように大きく誇大にいうのが針小棒大。逆に、かなり重大なことを何でも小さなことのようにいうのが棒大針小。

